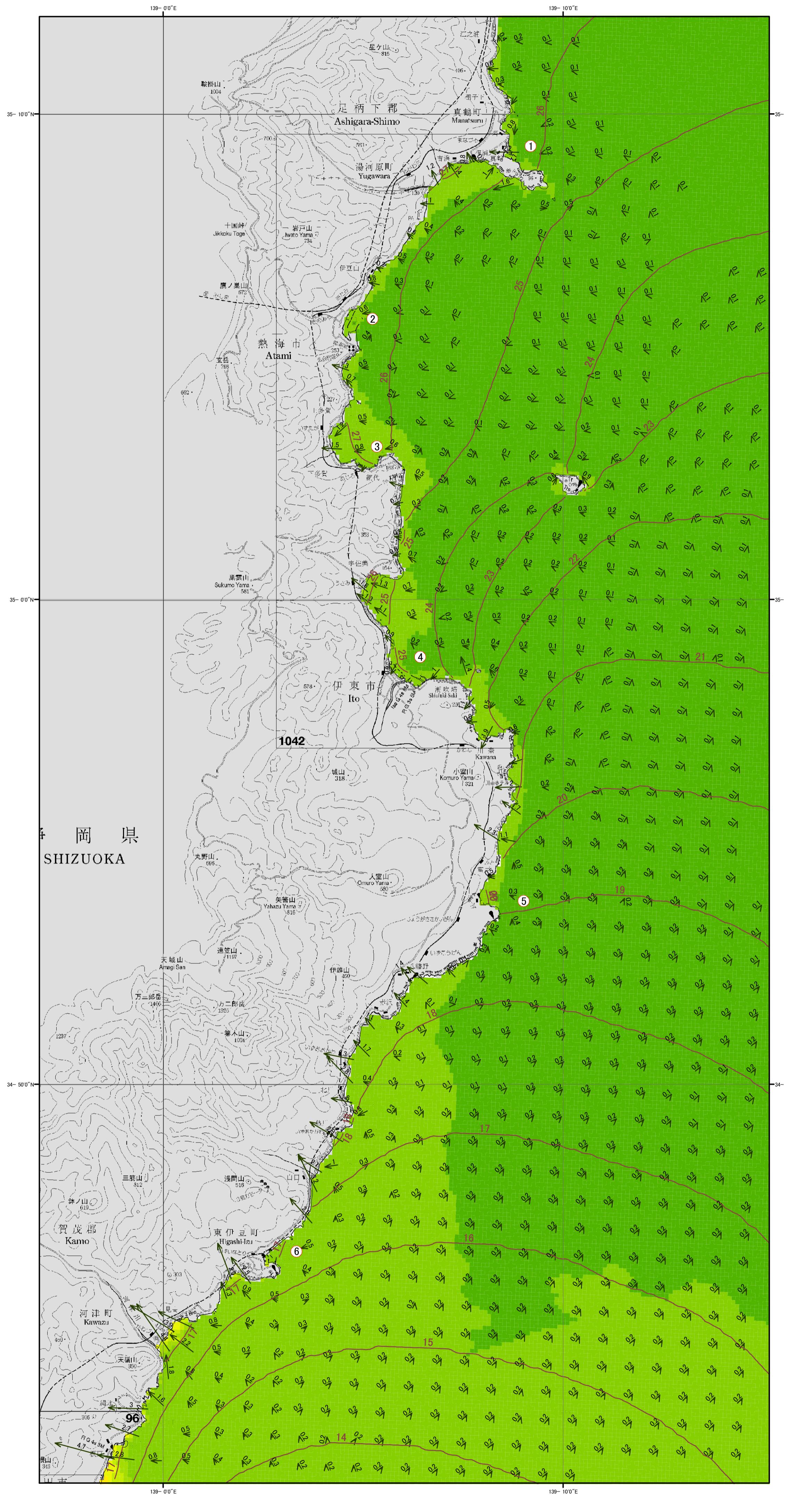


想定東海地震による伊豆半島東部津波防災情報図広域版（進入）

計算条件：最高水面・150mメッシュ

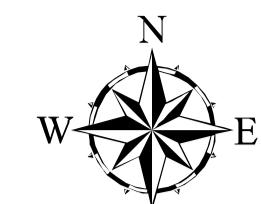
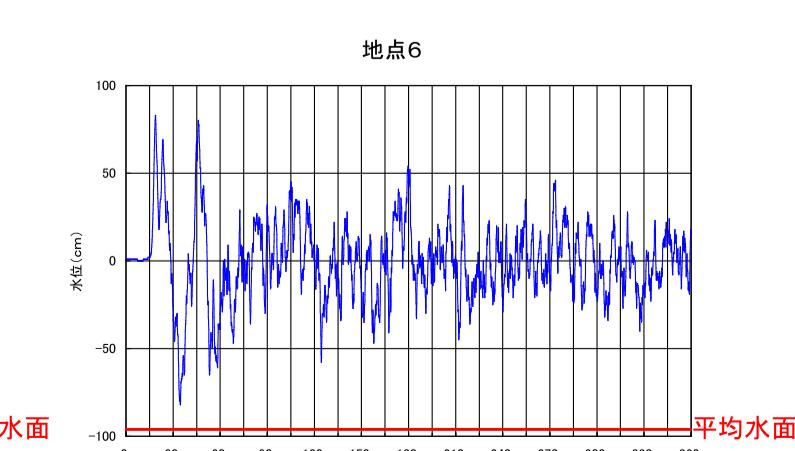
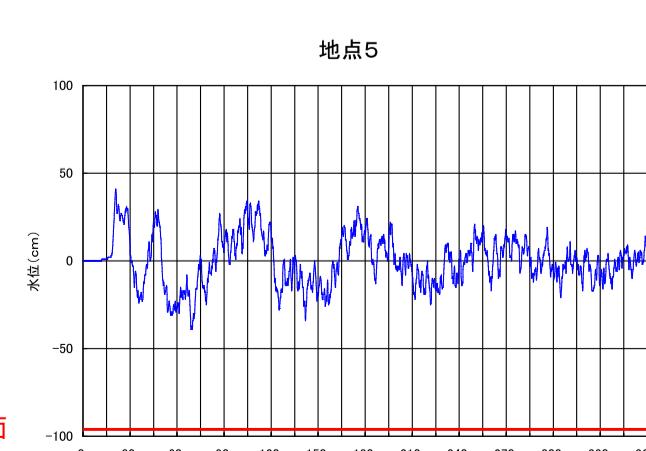
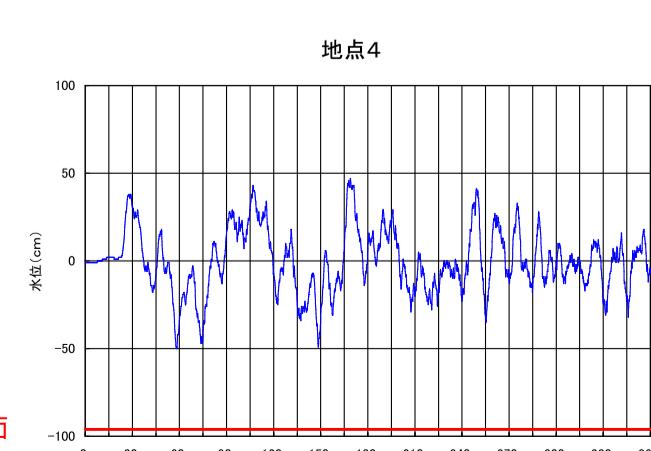
隆起量：平均-10m(-3cm~2cm)

・この図は150mメッシュで計算した津波の概要版であり、港湾内や沿岸域の情報は必ずしもシミュレーション結果が正確に反映されていません。



- ・この図は発災時から6時間のシミュレーションを行い作成しています。
- ・最大流の矢符は、6時間のシミュレーション時間から150mメッシュ7*7個(1050m*1050m)の49個から最大のものを表示しています。
- ・表示されている流速矢符は津波による流向・流速を示しており、海潮流の要素は考慮されていません。
- ・津波の到達時間は、水位が10cm上昇した時点を算出しています。
- ・経時変化図(水位変動のグラフ)は最高水面を基準面として、6時間の津波の水位変動を表示しています。時間による潮汐の変化は考慮されておらず、津波は計算条件の基準面に収束します。
- ・経時変化図に記載されている赤線は、潮汐が無いと仮定したときの海面(平均水面)を現しています。
- ・陸部の情報は海図から採用しています。
- ・計算に使用した地形データは、海上保安庁海洋情報部のJ-E G G 5 0 0、J-B I R D、沿岸の海の基本地形データ及び海図を作製する際の基礎データを使用しています。

・この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号平:15総使、第672号)



1:100,000

座標系:メルカトル図法
測地系:世界測地系(WGS84)

凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

経時変化図出力点

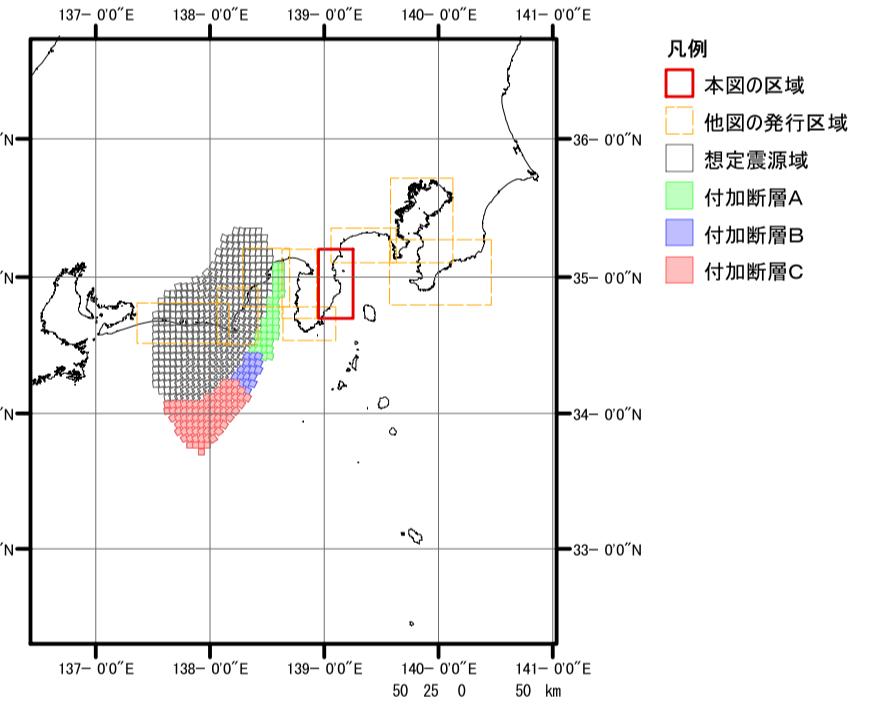
最大水位上昇

300 ~ 最大322cm
250 ~ 300cm
200 ~ 250cm
150 ~ 200cm
100 ~ 150cm
50 ~ 100cm
50cm未満

進入時最大流 [knot]

→ 3 knot
→ 2 knot
→ 1 knot

本図の区域及び想定震源域と付加断層の位置



中央の概位	中央の深さ
想定震源域 34°45'N, 138°02'E	19 km
付加断層A 34°45'N, 138°30'E	4 km
付加断層B 34°15'N, 138°20'E	6 km
付加断層C 34°00'N, 138°00'E	7 km

本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会」
(平成13年12月11日)で公表された断層モデルを使用した。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

